

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	48	現在認知症緩和活動として計算も取り入れている。しかし、書く事が苦手な方や紙上での計算が出来ない方も居る。視覚から数えたり言葉で答えられる方も居る事から色々な計算方法を取り入れ、手指を使ったり自己選択の訓練も兼ねる。現在紙上で計算できている方も画一的にならないように新たな取り組みが望まれる。	コミュニケーションを持ちながらレクリエーション的に計算をする。色々な計算問題をやり新たな挑戦が出来る。その事により脳活性化を図り認知症緩和をする。自信を持つことができる。	* 掛け算と引き算足し算の混合計算 * -7、-8の引き算問題を多く実施 * カードを使い計算し口頭で答える * 広告を使い買い物計算、おつり計算 * 絵カード、偽品物などを使い買い物計算 * 足し算・引き算・掛け算など(現在実施中)	5か月
2			手指を使い細かい作業をする事により脳活性化を図る。	* 箸を使い豆などを色分け・数分けする計算する。 * 計算機を使い数字の位置確認・指を動かす・計算する。 * 色付き棒やおはじき等の仕分け・数分け・並べる及び計算をする。	5か月
3					か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。